

報道関係者各位

PRESS RELEASE 2016年7月28日(8月4日改訂)

第1回 ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016 日本公式参加決定 作家は鈴木康広

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、2016年9月7日から9月27日にかけて英国・ロンドンにて開催される「第1回 ロンドン・デザイン・ビエンナーレ」の日本展示を主催いたします。このたびは展覧会概要が決定しましたのでお知らせいたします。

※ 7月28日に発表した内容にて、参加する国・地域数等一部誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、本リリースを修正版としてご利用いただけますようお願いいたします。

第1回 ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016 日本展示 概要

【タイトル】 A Journey Around the Neighbourhood Globe

【作家】 鈴木 康広(すずき・やすひろ)

【キュレトリアル・アドバイザー】 川上 典李子(かわかみ・のりこ)

【会 期】 2016年9月7日(水)～9月27日(火)

【主 催】 独立行政法人 国際交流基金



《大きな空気の人》©Yasuhiro Suzuki 武蔵野美術大学での展示風景 2016年

【アドバイザー・コミッティー】



柏木 博(かしわぎ・ひろし) デザイン評論家、武蔵野美術大学教授

川上 元美(かわかみ・もとみ) デザイナー、川上デザインルーム代表

藤本 幸三(ふじもと・こうぞう) アーティストリック・ダイレクター、株式会社ジェイアイエヌ顧問

川上 典李子(かわかみ・のりこ) ジャーナリスト、21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター

【協力】

WOW inc.  株式会社メディアタージ 

東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野・異才発掘プロジェクト ROCKET

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 事業第2チーム(担当:成山、原田)

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: london@jpf.go.jp

●取材・広報用画像のお問い合わせ: 大西晶子 Tel: 090-9621-5235/ E-mail: london@jpf.go.jp

<作家略歴>

鈴木康広(すずき・やすひろ)

1979年静岡県生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒。日常のふとした発見をモチーフに記憶を呼び起こし共感を生み出す作品を制作。国内外の展覧会をはじめ、パブリック・スペースのコミッションワーク、大学の研究機関や企業とのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。2014年水戸芸術館にて個展を開催。2014年毎日デザイン賞受賞。作品集に『近所の地球』(青幻舎)など。現在、東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室客員研究員、武蔵野美術大学空間演出デザイン学科准教授。

【公式ウェブサイト】<http://www.mabataki.com/>



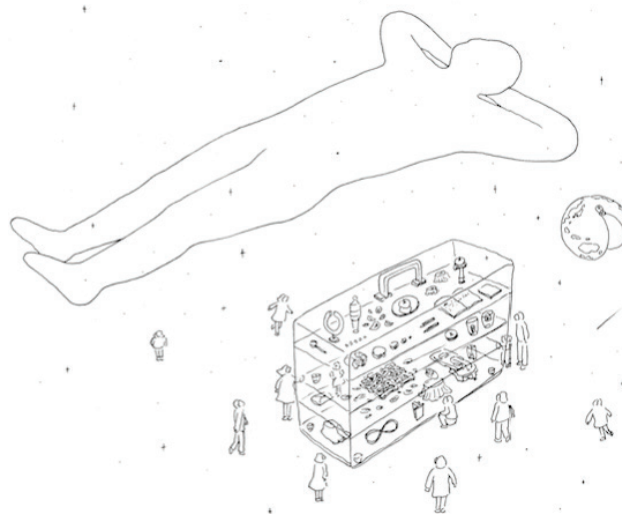
撮影:中川正子

<作家からのメッセージ>

展示タイトル:A Journey Around the Neighbourhood Globe

第1回ロンドン・デザイン・ビエンナーレの総合テーマ「Utopia by Design」の「ユートピア」を僕は、「ここにはない、もう一つの場所」と考えました。そして「Utopia by Design」とは、足元には物体としてあり、頭の中にはイメージとしてある身近な「地球」、すなわち「近所の地球(Neighbourhood Globe)」を旅することでもあります。デザインとは、現代を生きる私たちが進むべき道を示す、時と場所ごとに更新される「方位磁針」のようなものではないでしょうか。

—鈴木康広



展示プランのためのドローイング 《昼寝中の旅人》 ©Yasuhiro Suzuki

<キュレトリアル・アドバイザーからのメッセージ>

既にあるものや見慣れた現象に新鮮な切り口を与える作品によって、私たちの日常や世界のとらえ方に一石を投じる鈴木康広。日本庭園や茶の湯で知られる伝統的な「見立て」の手法にも通じる「あるものを別のものとして見る」視点によって、「いま・ここ」を「いつか・どこか」へとつなぎ、通常は出あうことのない物事の間新たな関係性を発見する数々の作品やプロジェクトを手がけてきました。

鈴木康広の作品は、内と外、前と後、部分と全体などの二項対立の関係、過去・現在・未来という時制の垣根を超えて、一人一人の足元(=日常)から世界へと目を向け、見慣れた社会とそうでない社会の間にあるものをとらえ、想像し、考えを巡らせることの重要性を私たちに教えてくれます。あるいは、それまでになかった世界を「感じる」ことの重要性を、示唆しています。

本展では、身近な現象とイマジネーションの交差となるインスタレーションで、世界をひらく可能性を示します。

一川上典李子

インスタレーション展示参考画像



東京大学先端科学技術研究センター1号館ギャラリー
撮影:青木遥香



東京ミッドタウン・デザインハブ 第49回企画展「いろは展」2014年
撮影:青木遥香

ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016 全体概要

LONDON DESIGN BIENNALE 2016

ロンドン市内の中心を流れるテムズ河沿いに位置する、元王宮で歴史的建築物が特徴的なサマセット・ハウスを舞台に、「ロンドン・デザイン・ビエンナーレ」が、今年9月に初開催されます。35 を超える国や地域から、デザイナー、アーティストや建築家をはじめ、キュレーターから科学者、ライターまで、各国の美術館・文化機関と共にチームを結成し、国別展示を行います。第1回目は「Utopia by Design (デザインによるユートピア)」を総合テーマとし、既存の分野を超えた、多様なデザインの役割や可能性を探ります。また、ロンドン市内では「100% design」、「designjunction」、「Tent & Super Brands」などの見本市や、ロンドン・デザインフェスティバルも同時期に開催されます。

【会期】 2016年9月7日(水)～9月27日(火)
【プレス内覧会】 2016年9月6日(火)10:00～13:00
【オープニングセレモニー】 2016年9月8日(木)
【会場】 Somerset House

【プレジデント】 John Sorrell
【ディレクター】 Christopher Turner
【インターナショナル・アドバイザー】
Paola Antonelli, Adelia Borges, Victor Lo Chung-Wing, Ana Elena Mallet,
James Lingwood, Kayoko Ota, Jonathan Reekie,
Richard Rogers, Jeremy Myerson, Martin Roth, Paula Scher

【公式ウェブサイト】 <http://www.londondesignbiennale.com/>
【ツイッター/ インスタグラム】 @londonbiennale
【ハッシュタグ】 #LDB16

プレス内覧会にご参加の方は、www.londondesignbiennale.com/press よりご登録ください。
プレス内覧会に関するお問合せ: ldb@brunswickgroup.com

※関連プログラム
「アーティストトーク」開催予定
【日時】 2016年9月10日(土) 18:00～19:00(日英逐次通訳)
【場所】 Somerset House 内 Screening Room
【出演】 鈴木康広、川上典李子(予定)

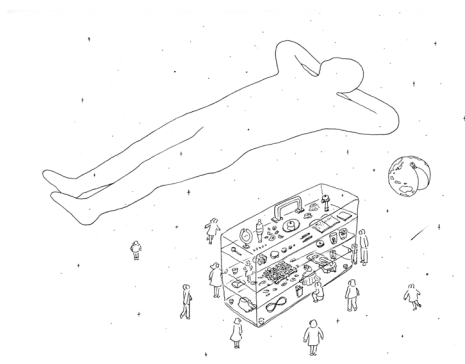
< 広報用写真 >

広報用写真をご用意しております。下記、もしくはリリース内より希望画像の作品名、媒体名、掲載予定時期を明記の上、広報担当: 大西(おおにし) london@jpf.go.jp までご連絡ください。

【 ご使用時の注意点とお願い 】

- ・ 写真をご使用の際は画像クレジットを記載ください。
- ・ トリミング、文字載せ、画像の二次使用はご遠慮下さい。
- ・ 使用の際は事実関係の確認の為、記事校正を PDF 形式でお送りください。
- ・ 掲載誌又は、掲載記事を担当者までお送りください。

①



《巨寝中の旅人》 ©Yasuhiro Suzuki

②



《大きな空気の人》 ©Yasuhiro Suzuki

③



《日本列島の方位磁針》 ©Yasuhiro Suzuki

④



《Untitled》 ©Yasuhiro Suzuki

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 事業第2チーム(担当:成山、原田)

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: london@jpf.go.jp

●取材・広報用画像のお問い合わせ: 大西晶子 Tel: 090-9621-5235/ E-mail: london@jpf.go.jp